

**【活動名】**

Totoro の会 presents 海辺での余暇支援とは? ver.2022

**【団体名】**

Totoro の会

**【団体概要】**

- ① 設立目的:障がい者余暇支援、まちづくり活動
- ② 設立年月日:平成11年8月8日
- ③ 会 員 数:15人

**【活動実績】**

- ・車イス海釣り大会
- ・門司港レトロ散策
- ・洞海湾クルージング

**【活動内容】****① 活動目的**

「障がい者の余暇」を問い続けて23年、特にここ数年は活動の維持の厳しい現状と今回の新型コロナの影響を考えさせられた。が、原点回帰として「車イス海釣り大会」を柱とした「Totoro の会 presents 海辺での余暇支援とは?」でコロナ後を考え、令和5年度は新たな形を模索する。

**② 活動内容**

令和4年度は過去3年同様、車イス海釣り大会、洞海湾クルージングを楽しもう、を企画していたが、新型コロナの感染拡大によって物理的・精神的に実施できる状況でなかったために中止とせざるを得なかった。

**③ 活動成果**

- ・車イス海釣り大会 今回も新型コロナ感染の影響を考慮し、実行委員会と釣りサポーターとの話し合いの上、残念ながら3年続けての中止とした。
- ・若松南海岸散策 今回、散策ではなく若松南海岸通りの【旧古河鉱業若松ビル】を使って最近の若松のことを知る機会としてトークイベント【シン・若松魅力発信】を6月26日日曜日に実施した。新型コロナ感染対策を取るのを必須として、1階 A ホールでは地元で活躍する作家さんのワークショップを4ブース、十分な間隔を取っての出版をしていただいた。2階 B ホールでのトークイベントでは(1)響灘ビオトープ所長安枝裕司氏にビオトープの取り組みと若松エールの栽培を通じての市民活動の話「若松エール物語」、(2)若松の音楽シーンを多方向に FM ラジオを通じて発信や、ドローン教室の開催などまさに新しい風を吹き込むカメラマン太郎浦賢治 (KENTA) 氏の『岩屋の海の変化が若松にもたらす影響』の話、2つの話を受けて総括として元北九州市教育長垣迫宇裕俊氏の環境の話で締めくくっていただいた。

**【今後の活動予定・団体のPR】**

今回実施した【シン・若松情報発信】は多様な角度から今の若松を知ることをテーマに続けていこうと思う。さらに今年は「車イス海釣り大会」の再開を目標の一つとして活動していきたい。活動維持のためにも、年齢不問、企画まで相談できるサポーターを募集します。

【連絡先・ホームページアドレス・SNS】

Totoro の会 HP:<https://totoro02-com.jimdofree.com/>

➡リニューアル予定(令和5年中)

Facebook:「Totoro の会」

『シン・若松魅力発信』  
トークイベント

2階 11時から



若松BASE  
Chocolumbus  
若松エール 物語り

6月26日  
日曜日

『シン・若松魅力発信』

北九州市 旧古河鋳業若松ビル  
にて

JOURNAL

